

みえ福祉第三者評価結果

① 第三者評価機関名

株式会社百五総合研究所

② 施設・事業所情報

名称：みはた虹の丘こども園	種別：幼保連携型認定こども園	
代表者氏名：園長 松井加奈子	定員： 150 名	
所在地：〒518-0611 名張市新田字女良塚 1005		
TEL：0595-65-3065	FAX：0595-65-9619	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 31 年 4 月		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人名張育成会		
職員数	常勤職員 25 名	非常勤職員 24 名
専門職員	保育士 38 名	保育補助 3 名
	調理師 3 名	看護師 1 名
施設・設備 の概要	保育室 3 室	多目的ホール 1 室
	調理室 1 室	園庭 2,491 m ²

③ 理念・基本方針

< 理念 >

- ・「気づく」まず自分がどういう状況なのかを認め
- ・「考える」その壁をどのように突破すべきなのかを考え
- ・「やってみる」選んだ方法を試してみる

< 基本方針 >

- ① 子どもが心身ともに健やかに豊かな生活を送り、生きる喜びと力を育む幼児教育・保育を行います。
- ② 子どもと保護者のおかれた状況を受けとめ、寄り添い子育ての良き伴走者となります。
- ③ 地域の人々や関係機関と連携を図りながら、子ども園の役割を構築します。
- ④ 職員は、常に保育とは何かを考え、子どもの発達を学び、各種の専門性を尊重し、チームで幼児教育・保育します。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

気づく・考える・やってみる～生き抜く力を育むために～

- ・一人ひとりの発達に寄り添う
- ・食べることは生きること、生きることは食べること『食』を通して命をつなぐ、人とつながる
- ・自然環境を活かした手作り遊具
- ・地域とのつながりに感謝して、地域に根づく園作り
- ・地域の子育て家族の支援
- ・こどもの育とうとする力を発揮することが出来る異年齢保育

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年9月21日（契約日）～ 令和6年1月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回

⑥ 総評

<特に評価の高い点>

・園では、子どもの目の前に現れた壁を突破する「生き抜く力」を育む為の園内環境整備を事業計画に盛り込んでいます。環境づくりの大工や作業については、保護者も積極的に参加しています。

・「TSUNAGU どんぐりプロジェクト」では、どんぐりを集めて苗木まで育て里山に植樹し、森林の活性化、安心・安全な地域づくりに取り組んでいます。災害時には、地域の福祉避難所として役立ちたいと考え、水、コメなどの備蓄や羽釜炊飯に定期的に取り組むようにしています。

・法人作成の「感染予防マニュアル」を活用し感染症流行前に職員に内容を周知しています。また、職員は「感染予防チェックリスト」によりセルフチェックを行い、各保育室には「ノロウイルス対応緊急処理セット」を配備しています。

<改善を求められる点>

・法人で統一した自己評価シートを活用していますが、園の業務内容に合わない項目もあるようです。園の業務にマッチした分かりやすい内容への検討を期待します。

・一人ひとりの目標を設定していますが明確な目標項目や目標水準などの仕組みはありません。目標設定を文書化して、年3回の面談時に指導やアドバイスする等の仕組みづくりを期待します。

・標準的な実施方法についての文書化が不十分です。教育・保育の一定水準や内容での支援を目指すためにも、教育・保育の各場面におけるマニュアル等を作成する取り組みを期待します。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

5年ぶりに第三者評価に取り組みました。日々変化する社会の中で立ち止まらず、私たちに何ができるのかを考え、学びを深めながら常に進化し続けなければいけないと考えています。第三者評価の結果を拝見して、一人ひとりの職員の知識、保育力、モチベーションをあげることや、職員自身がやりがいを感じる事ができる仕組みづくりに努めていきたいと考えます。

また、教育、保育の各場面におけるマニュアルの作成についても、誰が見ても理解出来る分かりやすい内容のものを作成したいと考えます。当園の理念や基本方針を落とし込み、職員が目の中のこどものアセスメントをしっかりと行ったうえで、子どもの想いに気づき、最善のかかわりを考え実践していけるよう取り組んでいきます。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。